

受傷（罹患）證明書

取扱者印

獨立歩兵第百二十五聯隊第三中隊

陸軍一等兵 渡邊 豊

右者在支那何々ニ於テ何々ニ何創（傷）ヲ受傷（何々症ニ罹患）シタルコトヲ證明ス

昭和二十年十一月二日

支那派遣軍獨立歩兵第百二十五聯隊長

職印

調製上ノ注意

部隊名ハ現在使用中ノ固有部隊名ヲ記載スルモノトス

0595

年 月 日 調製

還送患者名簿

發送病院名 第百五十七兵站病院  
船名 大和丸

一連番號	病名(病類)(番號)	傷病内地病院等差收容年月日	内地收容本都道府縣	所管所屬	官等級	氏名
1	右濕性胸膜炎(二四)	壹	臨時福岡二病	山梨	一師工一ノ一中一補兵	日本太郎
2	肺結核(一五)	壹	同	愛知	三師步六八ノ五中一補兵	太田 豊
3	マラリア(三日熱)(一一)	壹	同	青森	獨混歩五〇三二補兵	近藤隆盛
4	クルミア肺炎(二三)	壹	陸久留米	山口	獨歩五〇九現主軍	山田五一

20、12、10  
一六三〇

調製上ノ注意

- 一、本名簿ハ發送病院ニ於テ四部調製シ一部ヲ當該病院ノ控トシ他ノ三部ヲ還送患者護送上級先任軍醫將校ニ交付スルモノトス
- 二、發送病院ニ於テ本名簿調製ノ際記入スベキ事項ハ發送病院名、船名、一連番號、病名(病類)、傷病等差、本籍都道府縣、所屬、官等級、氏名トシ名簿ノ末尾ニ將校、准士官以下、軍屬、其ノ他ニ區分セル患者數ヲ併記スルモノトス
- 三、發送病院ハ本名簿ノ患者ニ係ル現認(事實)證明書添付ノ有無ヲ各病床日誌ニ就キ點檢シ添附無キ者ニ對シテハ本名簿下欄外ニ〇印ヲ附シ置クト共ニ病院長ノ調製スベキ決定證明書ヲ整備(病院長ノ更迭或ハ現收容病院轉入前ノ事項ニ在ラテモ現收容病院長之ヲ整備ス)シ置クモノトス
- 四、還送患者護送ノ上級先任軍醫將校ハ輸送途中死亡セル患者アラハ本名簿上欄外ニ(死)ト朱書シ死亡月日、時間ヲ附記シ置クト共ニ内地港灣ニ到着セハ末尾ニ輸送途中死亡數等ノ所要事項ヲ記入シ本名簿ノ患者ヲ確實ニ内地收容病院受領者ト授受シ相互ニ署名捺印シ一部ヲ内地收容病院受領者ニ交付シ殘餘ノ二部ニ内地病院收容月日及内地收容病院名ヲ記入シタル後復員本部ニ提出スルモノトス

別添「改正」件達「中」改正

從軍證明書	
役種官等級 氏名	豫備役陸軍上等兵 青木誠
生年月日	大正十年六月七日生
本籍地	東京都中野區大和町二五二番地
持業及特有ノ技能	經 技
賞	一、昭和十九年八月一日 兵精勳章附與 二、昭和二十年九月十日 陸軍經技下士官適任證ヲ附與 三、同日 善行證書ヲ附與
戰傷及戰病	昭和十五年十月五日安徽省銅陵縣大通ニ於テ拇指ニ貫通銃創ヲ受ク
除隊、召集解除年月日	昭和二十年九月十日
右相違ナキコトヲ證ス	支那派遣軍 獨立歩兵第二百十大隊長 島田精一
昭和二十年九月十日	
職印	

調製上ノ注意  
 一、部隊名ハ現在使用中ノ固有部隊名ヲ記載スルモノトス  
 二、用紙ハ總司令部ニテ交付ス

0597

退職賞與支給要領

一、軍人軍屬諸生徒ニ對スル退職賞與額ハ俸給給料(手當金)月額及特定戰地乙タル内地ニ於ケル戰地増俸月額トノ合計額ニ對スル十二ヶ月分トス

但シ留守宅渡ヲ實施シアル營外者ニ對シテハ留守宅渡實施要領別表ニ掲クル金額(賞與ヲ除ク)ノ十二ヶ月分相當額ヲ本人ニ對スル退職賞與トシテ各留守宅ニ對シ送金濟ナルヲ以テ之等ノ者ニ對スル退職賞與ノ支給額ハ特定戰地乙タル内地ニ於ケル戰地増俸ノ十二ヶ月分ニ相當スル額ニ限定スルモノトス

二、諸生徒ニ對スル特定戰地増俸(乙)額ハ階級相當ノ額トス

三、工員ノ特定戰地増俸(乙)額ハ傭人ノ例ニ依リ日給者ニ在リテハ日給額ノ三十日分ヲ以テ月額ト看做ス

四、賞與額ニシテ十圓未満ノ端數アルトキハ十圓ニ切上ク

五、退職賞與支給額調屬表ト連トシテ其ノ乃至其ノ四ノ如シ



諸生徒賞與額調

備考	陸地測量部生徒	經理部少年依託生徒	軍醫豫備員候補者	通船兵候補者	補者			陸軍補充令第八十三條第一項ニ規定スル者	陸軍補充令第六十二條ノ二乃至第六十六條第七十三條ノ五ニ規定スルモノ	陸軍補充令第六十二條ノ二乃至第六十六條第七十三條ノ五ニ規定スルモノ	陸軍補充令第八十三條第一項ニ規定スル者	陸軍補充令第十五條第一項第二號ニ掲クル諸學校生徒	補										見習士官	區分	本俸	戰地増俸	計	賞與額 (十二ヶ月分)		
					生								候																	
					一等兵	上等兵	兵長						伍長	軍曹	一等兵	上等兵	兵長	伍長	軍曹	軍醫候補生	技術候補生	士官候補生								
戰地増俸ハ特定戰地乙タル内地ニ於ケル戰地増俸トス	三四〇〇	一五〇〇	九〇〇	五五〇	九〇〇	一三五〇	一三五〇	一三五〇	一三五〇	一三五〇	四五〇	五五〇	九〇〇	九〇〇	九〇〇	九〇〇	九〇〇	九〇〇	九〇〇	六五〇	六五〇	六五〇	六五〇	六五〇	六五〇	二五〇〇	一四〇〇	三九〇〇	四七〇〇	
	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇	四二〇	四二〇	五四〇	八〇〇	一四五〇	一八五〇	一八五〇	一四〇〇	三九〇〇	一八五〇	二三〇〇
	三七六〇	一八六〇	一二六〇	九一〇	一二六〇	一七一〇	一七七〇	一八九〇	一八九〇	一八九〇	八一〇	九一〇	一二六〇	一三二〇	一四四〇	一七〇〇	二一〇〇	二一〇〇	二一〇〇	一〇一〇	一〇七〇	一一九〇	一四五〇	一八五〇	一八五〇	一八五〇	三九〇〇	一八五〇	二三〇〇	四七〇〇
	四六〇〇	二三〇〇	一六〇〇	一一〇〇	一六〇〇	二一〇〇	二二〇〇	二二〇〇	二二〇〇	二二〇〇	一〇〇〇	一一〇〇	一六〇〇	一六〇〇	一八〇〇	二一〇〇	二六〇〇	二六〇〇	二六〇〇	一三〇〇	一三〇〇	一五〇〇	一八〇〇	一八〇〇	一八〇〇	四七〇〇	一八〇〇	二三〇〇	四七〇〇	四七〇〇



屬表其ノ四

嘱託員、雇員、傭人退職賞與額調

備考	本俸	戦地増俸	計	退職賞與(十二ヶ月分)	
				留守宅渡ヲナシアル者	留守宅渡ヲナシアル者
二五〇〇	四〇〇〇	六五〇〇	七八〇〇	四八〇〇	
三〇〇〇	四八〇〇	七八〇〇	九四〇〇	五八〇〇	
三五〇〇	五六〇〇	九一〇〇	一、一〇〇〇	六八〇〇	
四〇〇〇	六四〇〇	一〇四〇〇	一、二五〇〇	七七〇〇	
四五〇〇	六五〇〇	一一〇〇〇	一、三二〇〇	七八〇〇	
五〇〇〇	六五〇〇	一一五〇〇	一、三八〇〇	七八〇〇	
五五〇〇	六五〇〇	一二〇〇〇	一、四四〇〇	七八〇〇	
六〇〇〇	六五〇〇	一二五〇〇	一、五〇〇〇	七八〇〇	
六五〇〇	六五〇〇	一三〇〇〇	一、五六〇〇	七八〇〇	
七〇〇〇	六五〇〇	一三五〇〇	一、六二〇〇	七八〇〇	
七五〇〇	六五〇〇	一四〇〇〇	一、六八〇〇	七八〇〇	
八〇〇〇	六五〇〇	一四五〇〇	一、七四〇〇	七八〇〇	
八五〇〇	六五〇〇	一五〇〇〇	一、八〇〇〇	七八〇〇	
九〇〇〇	六五〇〇	一五五〇〇	一、八六〇〇	七八〇〇	
九五〇〇	六六五〇	一六一五〇	一、九四〇〇	八〇〇〇	
一〇〇〇〇	七〇〇〇	一七〇〇〇	二、〇四〇〇	八四〇〇	
一〇五〇〇	七三五〇	一七八五〇	二、一五〇〇	八九〇〇	
一一〇〇〇	七七〇〇	一八七〇〇	二、二五〇〇	九三〇〇	
一一五〇〇	八〇五〇	一九九五〇	二、三五〇〇	九七〇〇	
一二〇〇〇	八四〇〇	二〇四〇〇	二、四五〇〇	一、〇一〇〇	

備考

一、戦時増俸ハ特定戦地乙タル内地ニ於ケル戦地増俸トス

0602



附表第五其(一) 俸給(給料)退職賞與受領証

昭和 年 月 日

部隊名(固有姓名)

請求受領人 官氏

名 (印)

0603

一金 四 銭

四 銭

委任狀照合済

備考	支給額計		官等級		役種		名	
	支給額計	官等級	役種	名	支給額計	官等級	役種	名

一 本様式(軍人)三ノ諸給與金ヲ現金ニ受領スル場合ニ適用スルモノトス  
 二 本様式ハ三ノ通調製ス  
 三 請求受領人ハ本受領証ニ通 屬教條式ニシテ算出内訳書ニ通 委任狀ニ通 金種区分表ニ通 (以上本部隊  
 中隊單位ニ適用ス)ヲ添テ 部隊長ノ捺印ヲ經テ 役員本部(出張所)ニ提出シ 諸給與金ノ受領ヲシ本受領  
 証(他一通)各人ニ支給スル受領印ヲ捺印セテ 部隊長ノ支給表ニ捺印ヲ經テ 運送後 運送後  
 本部(出張所)ニ提出スルモノトス  
 四 合計額金種個人支給額計並ニ人員算出内訳書及委任狀照合スルモノトス  
 五 本受領証ハ二葉書ニ支給額合計ヲ記書スル欄外ノ頁ニ捺印シ 記入(印)ヲモトス





屬表

委任狀

昭和 年 月 日

陸軍大尉	何	某	㊟
陸軍少尉	何	某	㊟
陸軍准尉	何	某	㊟
陸軍曹長	何	某	㊟

左記請求及受領ニ關スル權限ヲ〇〇部隊陸軍主計中尉何某ニ委任ス

左記

一、退職賞與

- 一、復員當月ヲ含ム三ヶ月分ノ前拂俸給
- 一、昭和二十年九月以降復員前迄ノ俸給

0606





附表第十六

船内及船内豫備糧食交付日數標準表

博門下 多司關	船内 豫備	到 着 地 區 乘 船 地	塘沽	青島、連雲港	上海	廣東、汕頭、雷州
		船内	五日分	四日分	四日分	八日分
船内豫備	一日分	一日分	一日分	一日分	二日分	

備考 船内及船内豫備糧食定量ハ左表ヲ標準トスルモノトス

船内豫備糧食	船内糧食	區分	一人一日分定量	摘要
主 食 鹽 干 魚 食 鹽	飯類三食分 (適宜ノ副食物ヲ併給)		六〇〇瓦 一〇〇〇瓦 三〇〇瓦	船内ニ於テ炊事可能ナル場合ノ定量ハ大東亞 戰爭給與令細則第十八表ノ基本定量及加給品 定量トス但主食穀類ハ六〇〇瓦トス

0609

附表第十七

備考		食		副食	主食	區分	品種		一日分定量	一人分數量		
		粉	粉				粉	粉		攜帶用	交付	計
一、適宜代用品ヲ充ツルコトヲ得 二、乾パン、特殊口糧、凍乾飯類ヲ少クモ二日分以上ヲ含マシムルモノトス	鹽	醬	味	罐詰肉、鹽干魚、乾野菜等 保有狀況ニ應シ適宜	精米、精雜穀(粉) 乾パン、特殊口糧類 種一内		油	噌	三五〇瓦	概ネ五日分	概ネ五日分	概ネ十日分
							三〇瓦	概ネ五日分	概ネ五日分	概ネ十日分		

上陸後携帶用及上陸地滯留間用豫備糧食標準表

0610



附表第十八

日用品照明材料支給基準表					
品目	単位	数量	品目	単位	数量
手拭	本	二	歯磨粉	袋	二
禪	本	二	私製葉書	枚	一〇
石	個	二	鉛筆	本	一
落シ紙	枚	三〇〇	鉛筆	本	二
歯刷子	本	二	マツテ(小)	個	一

0611

附表第三十一

現役將校本籍地及歸郷子弟定地一覽表 部隊名

本籍地	職官氏名	別期
歸郷子弟定地		

編製上注意

- 一 歸郷先不明或ハ決定シテラサル者ハ予想スル歸郷地數カ所ヲ記入シ本人居住ヲ常ニ明カラシムルモノトス
- 二 歸郷後住所ヲ変更セル者ハ其ノ都度支那派遣軍復員本部ニ新住所ヲ報告スルモノトス
- 三 現地ニテ予備役ニ編入スル者モ其ノ旨明記シ本人ノ留守地ヲ明記スルモノトス

0612

就職希望(決定)者調査

職(決定)望希	略	最終學了	現住所	本籍地
		就職希望(決定)者調査		
地望希				
状況庭家				
		続柄及姓名		官所名職属
		年令	能技有特	年月日
		職業		

0613

調査上の注意

一 本調査は現役者位尉官全員の身分記載の内地に陸時復員本部提出するものとする

二 現住所は本人と連絡の便を以て居住の地を明記するものとし、記載の現住所は決定するものとする

三 年令は現住所の記載を以てするものとする

其他必要ト  
認ムル事項

一 金銭戦用諸品ノ検査並ニ関係書類ノ処理因ニハ總務主電第 三二七号ニ拘ラズ總務  
主電第 三九九号ニ依ルモノトス

昭和二十年九月二十日 總務主電第 三二七号 經理書類ノ処理ニ関スル件

内地歸還ニシテ金銭物品出納ニ関スル經理書類処理ハ九月二十日附陸軍主電第 三六八号ニ  
依リ左ニ依ルモノト定メシタル付承知相成度

戰時陸軍計算證明規程ニ依リ提出ヲ要スル証憑書類ハ極力移行スルコト  
但シ輸送上眞ニ止テ得ルモノハ保証書ヲ以テ代フルコトヲ得

2. 整理簿ヲ除ク其他金銭諸帳簿又保証書ヲ以テ證明シタル証憑書類ハ適宜  
処理スルコト

3. 戦用品ノ出納記憑書類諸帳簿ハ戦用品取扱規則第 三十九條ノ規定ニ依リ  
責任解除ヲ為シテ止後ニテ適宜ニ処分スルコト

4. 共有金品又ニ準スルモノハ整理簿ヲ除外シ諸帳簿出納記憑書類ノ処分ニ前号ニ  
準ス

5. 戦時軍費費算計算書保証書 戦時陸軍計算證明規程ニ依リ指  
出ヲ要スル証憑書類 才入金領収明細書 同附屬書類 整理簿 軍需品

処理調書ハ内地歸還ノ際右軍需品ノ取扱便員本部ニ提出スルコト

本処理ハ嚴正ニ実施シ漏根ヲ残ササルコト

進テ細部ハ各軍ニ於テ適宜定メラレモ差支ナク付為念

昭和二十年十月七日 總務主電第 三九九号 金銭物品証據書類等ノ処理ニ関スル件  
十月十二日附陸軍主電第 四四四号ニ依リ在ノ通示違ハラズ付之カ勵行ヲ指遵導相成度  
外地部隊ノ金銭物品ノ出納ニ関スル証據書類及帳簿ノ從來ノ規定ニ拘ラズ極力之  
ノ保存ニ尚歸還ノ期ヲ成シ得ル限リ移行スルコトヲ取計ヒマリ度

二 軍需品処理調書調製規則ニ依リ左ニ據ルモノトス

一本調書ハ内地歸還ノ際ニ當該部隊保管ニ係ル戦用品取扱規則第 第 條 諸品  
及戦用衛生材料、戦用器材材料並ニ戦用天幕布(押収品等)ニシテ以上ニ準スル  
取扱ヲ為ス諸品ヲ含ムノ出納状況ヲ明カナシム

二本調書ハ獨立部隊毎ニ調製シ在ノ附屬書類ヲ添付スルモノトス

1. 總務主電第 五〇四号ニ基テ中支制ト受取証書

2. 部隊長ノ證明アル出納証書

3. 所管經理部長ノ證明アル支取損調書

4. 戦用品保管者管理期調書(昭和十九年度以降ノ分トス)

5. 其他出納ノ正確ヲ證明スヘキ証憑書類

0614

昭和二十年十月十日 總務主電第三九号 中支側交付ニ係ル金銭並ニ諸物品整理  
要領ノ件

中支側ヨリ借入スル交付ヲ受ケル金銭並ニ糧秣營繕材料其他諸物品ノ整理要領ハ  
左記ノ通定スル

一 中支側受降主管ヨリ現品交付ニ係ル諸物品並現物代金(糧秣等現品交付音ハ支給セラル  
金額)ヲ受領スル部隊ハ中支側トシテ諸物品受授証書並現物代金授記ヲ作制ス且品目  
別受領數量單價小計並現物代金受領額ヲ各單(中支側軍ハ方面單)ニ於テ取纏メ

毎月總單ニ報告スルモノトス  
二 現品交付ニ係ル諸物品及現物代金ニ依リ購入スル物品ノ記帳整理ハ戰用品取扱要領ニ依リ  
モノトス

三 第三項以外必要ナル資金ハ各軍ニ於テ中支側受降主管ヨリ直接借入ルモノトス  
借入際ニ中支側トシテ借入金受授証書ヲ作制ス且借入額ヲ毎月總單ニ報告  
スルモノトス

四 中支側軍ハ師團ニシテ直接中支側受降主管ヨリ前項資金ヲ借入ルル必要ナルトハ直上  
各軍ノ認可ヲ得テ本借入ルモノトシ得

右ノ場合借入金ハ直上各軍ノ借入金ニ一括シテ各軍ヨリ總單ニ報告スルモノトス  
五 各部隊ハ借入金ハ現物代金ノ受入リタルトス之カ整理多ク敷整理簿ヲ設テ借入金  
及現物代金ヲ口生別ニ記帳シ毎月借入金(借入金並現物代金)受拂計算  
書ヲ調査スルモノトス

六 借入金受拂計算書ハ臨時軍費受拂計算書様式ヲ準用ス之カ附屬  
書類トシテ記帳書類並ニ支拂額集計表ヲ添付スルモノトス

七 借入金ハ法幣並ニ原則トスルモ現地通貨貸建借入金ハ場合ハ前項受拂計算  
書ハ各通貨別ニ製作スルモノトス

八 借入金並現物代金ハ各部隊相互間ニ於テ移算ヲ行ヒ得ルモノトス尚各部隊ノ不敷  
額ハ直上各軍ニ返納セシムルモノトス

九 第十三飛行師團 第二船舶輸送司令部 及總軍直轄部隊ハ其必要ナル借入金ハ  
現物代金ヲ所在地各軍ヨリ交付ヲ受クルト共ニ借入金受拂計算書ヲ該軍ニ  
提出スルモノトス

十 各軍ハ内地歸還ニ當リ各部隊ノ借入金受拂計算書ヲ一括集計シ上取終  
受拂計算書ト共ニ内地陸地ニ於テ復員本部ニ提出スルモノトス各軍ノ借入金  
金支拂殘額ノ返納地表ニ因リテハ追テ指示ス

十一 第一 第三 第四項ヨリ諸物品受授証書 現物代金受授証書並借入金受授証書ハ  
各軍ニ於テ復員本部ニ提出スルモノトス

備考  
一 第一項現品交付ニ係ル諸物品ノ單價ハ將來賠償額算定ノ資料トシテ付受領月ニ於リル  
市場相場ヨリ及テ之ヲ算出スルモノトス但シ購入價格不明場合ハ当該日ノ平均市  
場相場ヲ及テ之ヲ算出スルモノトス

二 總務主電第三八号ニ依リ借入前項資金ノ整理ハ本要領ノ通知計タルモ臨時軍事  
資金ノ整理ハ従前通り

0615

前渡資金交付並ニ決算整理要領

0616

- 一、分任資金前渡官吏ヨリ交付スヘキ臨時軍事費前渡資金ハ昭和二十年九月ヲ以テ打切トス 其ノ決算ハ支拂殘額皆無トナル迄引續キ從前通實施シ所定ノ受拂計算書ヲ調製提出スルモノトス
- 二、昭和二十年十月以降ニ於ケル分任資金前渡官吏ヨリノ資金交付ハ借入金ニヨリ調達スルモノトス (以下借入前渡資金ト稱ス) 但シ北支那方面軍ニ在リテハ毎月所要額ニ付總軍經理部長ノ認可ヲ得テ北支那方面軍經理部長自ラ調達スルモノトス
- 三、十月以降乗船ニ至ル間ノ借入前渡資金ノ交付並ニ之カ決算整理ハ臨時軍事費前渡資金トハ別個ニ從前ノ決算證明要領ニヨリ新ニ實施スルモノトス
- 四、借入前渡資金ノ交付並ニ決算ハ法幣建トス
- 五、乗船時ニ於テ臨時軍事費前渡資金ノ支拂殘額ヲ保有シアル部隊ハ直上分任官 (最寄分任官) ニ返納 (移算) ヲ爲シ締切ヲ行フモノトス
- 六、借入前渡資金ノ支拂殘額ハ上陸地ニ於テ第三號ニ依リ調製スル最終受拂計算書ト共ニ復員本部ニ於テ分任資金前渡官吏又ハ直上分任官ニ提出スルモノトス
- 七、各軍ニ於ケル決算集計要領ハ從來通トシ前記第一號並ニ第三號ニ依リ隸下各部隊ヨリ提出セル受拂計算書 (最終支拂合計額) ヲ各々個別ニ集計整理ノ上二種ノ總括受拂計算書ヲ調製シ借入前渡資金ノ支拂殘額ニハ明細ヲ附シタル後復員本部ニアル分任資金前渡官吏ニ直接提出スルモノトス

支那派遣軍内地歸還ニ伴フ檢疫實施要領

一、方針

派遣軍ノ大陸撤收ニ際シ傳染病及性病等ノ内地搬入ヲ防止ス

二、檢疫ノ種類及實施責任者

集中地檢疫 兵團長又ハ獨立部隊長

乗船準備地檢疫 兵團長又ハ獨立部隊長

乗船地檢疫 乗船地上級先任指揮官

三、實施要領

1、集中地、乗船準備地、乗船地ヲ通シ傳染病、性病、「マラリア」等ノ感染豫防ニ努ムルト共ニ之等患者ノ一貫セル治療ヲ實施ス若シ劇烈ナル傳染病發生スルカ又ハ其ノ他ノ傳染病流行蔓延セル時ハ該傳染病終熄スル迄當該部隊ノ移動ヲ禁止シ乗船ヲ延期セシムルモノトス

2、集中地檢疫

(1) 各兵團(部隊)ハ傳染病、性病及「マラリア」ニ就キ夫々巡回檢索班ヲ編成シテ全面的ニ之

等疾患ヲ摘發シ治療ニ努ム

- (2) 爾後乗船準備地或ハ乗船地ヘノ出發迄ハ之等疾患ノ重點的檢索ヲ行ヒ且現地治療ニ努ム
- (3) 各兵團(部隊)長ハ常ニ乗船地上級先任指揮官ト連絡ヲ密ニシ乗船豫定日判明セハ乗船準備地或ハ乗船地ヘノ出發概ネ一週間前ニ終了スル如ク乗船地檢疫ニ準シ檢疫ヲ實施ス
- (4) 部隊ニ對シテハ別紙第一様式ノ檢疫證明書ヲ概ネ中隊單位ニ發行シ檢疫ノ都度所要ノ記入ヲ受ケ内地歸還時之ヲ携行シ内地上陸地ニ於ケル復員本部若クハ出張所ニ提出セシム

### 3、乗船準備地檢疫

- (1) 補備的檢疫ヲ行フ

- (2) 乗船準備地ニ在ル期間遷延シ最終檢疫後概ネ一ヶ月ヲ經過セル時ハ檢疫ヲ反復實施スルモノトス

### 4、乗船地檢疫

- (1) 乗船地上級先任指揮官ハ乗船人員ノ檢疫ニ應スル檢疫班ヲ別紙第二ノ基準ニ據リ編成シ主トシテ一般檢疫及性病ノ檢診ヲ實施セシム

- (2) 檢疫ヲ施行スル傳染病左ノ如シ

イ、海港檢疫法ニ依リ内務大臣ノ指定セルモノ(「コレラ」、痘瘡、發疹「チフス」、「ペスト」)

0618



黄熱)

ロ、赤痢、腸「チフス」、「バラチフス」、細菌性食中毒、「デフテリア」、流行性腦脊髄膜炎、  
回歸熱及其ノ病原體保有者

(3) 検査ハ乗船前一週間以内ニ完了スル如ク實施ス

(4) 問診視診ハ全員ニ實施シ病原體検査ハ腸管系傳染病ニ對シテハ全員其ノ他ノ傳染病ニ對シテハ乗船地上級<sup>カ</sup>先任指揮官ノ指定スルモノ及部隊ノ汚染狀況ニ基キ實施スルト共ニ患者(疑似患者、保菌者ヲ含ム)ハ所定ノ病院又ハ隔離所ニ收容シ汚染又ハ其ノ虞アル部隊ニ對シテハ所要ノ消毒ヲ實施ス

(5) 性病中他ニ感染ノ虞アル淋病、梅毒、軟性下疳及第四性病ハ之ヲ入院セシム

(6) 検査班長ハ乗船地検査終了セル部隊ノ乗船ノ可否ヲ決定スルト共ニ其ノ携行セル検査證明書ニ所要ノ記入ヲナス

(7) 内地還送患者竝ニ護送員ニ對スル検査ハ患者發送病院長ニ委任スルコトヲ得

此ノ場合委任セラレシ病院長ハ實施セル病原體検査成績ヲ病床日誌ニ記入スルモノトス

検疫證明書

× 部隊名	× 指揮官 官氏名	實	施	月	日	月	日	月	日	月	日	月	日	
		受	檢	機	關	名	地	檢	疫	機	關	名	地	
		部	隊	名										
		<p>一、調製上ノ注意</p> <p>1、×印欄ハ被検疫部隊ニ於テ記スモノトシ其ノ他ノ欄ハ検疫機關ニ於テ検疫ノ都度所要ノ記入ヲナシ責任將校捺印スルモノトス</p> <p>2、部隊人員總員欄ハ受檢當日ノ事實ヲ記入ス</p> <p>3、病原體檢索欄ニハ被檢索人員ヲ記シ其ノ下ニ陽性數ヲ記シ括弧ヲ附ス但シ其ノ他欄ニハ實施セル檢索菌名ヲ附記スルモノトス</p> <p>4、問診視診藥浴及被服寢具消毒欄ニハ之ヲ受ケタル人員ノミヲ記ス</p> <p>5、未實施欄ニハ斜線ヲナス</p> <p>6、乗船地ニ於ケル検疫班長ハ乗船地検疫完了後乗船ノ可否ニ關スル判決ヲナシ乗船許可ノ場合ハ本證明書末尾欄外ニ年月日ト共ニ其旨記入捺印スルモノトス</p> <p>二、部隊ハ検疫證明書ニ検疫ノ都度所要ノ記入ヲ受ケ内地陸地ニ於ケル復員本部若クハ出張所ニ提出スルモノトス</p>												
× 乗船地	× 乗船名	丸	× 乗船月日	月	日									
被服	蒸氣煮沸	浴	問診視診	藥	病原體	腸管系傳染病	其他	總員	受檢數	部隊人員	檢疫機關名	地	實施月日	
消毒	器具	藥	藥	物	其	コ	レ	員	檢	總	機	地	日	

被檢人員一日一萬人ニ對スル檢疫班編制基準

軍醫大(中)佐	一
軍醫中(少)佐	一
軍醫少佐(大尉)	五
軍醫尉官	一三
藥劑少佐	一
藥劑尉官	一
衛生尉官	二
主計尉官	一
衛生下士官	五〇
主計下士官	一
衛生兵	二五〇
計	三二六

備考 1、軍醫尉官ハ衛生部見習士官ヲ以テ充ツルコトヲ得  
 2、衛生下士官ノ内約十分ノ一ハ准士官トス

副官	謀	參	參謀長	司令長官
	D	B	A	
	(印)	(印)		(印)

總參一第一五二三號

支那派遣軍復員規定中改正ノ件達 (第一回部分改正)

庶務主任

隸下指揮下一般

九月九日總參一第一五〇〇號支那派遣軍復員規定  
 中別紙ノ通改正ス

昭和二十年十月五日

支那派遣軍總司令官

20. 10. 接 受

0622

## 支那派遣軍復員規定中改正ノ件

第五條中第七號ヲ左ノ如ク改ム

七、部隊（人員）乗船出發決定セハ出帆概ネ三日前附表第一ニヨリ歸還部隊（人員）等ノ豫定ヲ復員本部若クハ出張所ニ電報シ出帆スルヤ同表ニ據リ更ニ正確ナル人員ヲ電報ス

乗船者名簿（各船舶毎ニ別冊トシ表紙ニ乗船地名、上陸地名、船名、出帆月日ヲ、内容ニ所屬部隊、役種、官等氏名、本籍地及留守擔當者住所氏名ヲ記ス）ハ之ヲ整理保管シ置キ特ニ復員本部ヨリ請求セラレタルモノノ外輸送終了後復員本部ニ提出ス

第十二條第二項中「上陸部隊ノ宿營、給養」ノ次ニ「金錢其ノ他ノ諸給與、派遣軍々費ノ最終決算處理」ヲ加フ

第十五條中「四 除隊者名簿（附表第四）」ヲ

「四 除隊、召集解除者連名簿（附表第四）」ニ、

「六 入院患者名簿（附表第六）」ヲ

「六 入院患者連名簿（附表第六）及還送患者連名簿（附表第十一）」ニ、

「八 生死不明者名簿（附表第八）」ヲ

0623

「八 生死不明者連名簿（附表第八ノ一）及處刑者連名簿（附表第八ノ二）」  
ニ改ム

第十八條全文ヲ左ノ如ク改ム

第十八條 各部隊長ハ除隊、召集解除前下士官以下ノ進級ヲ詮衡シ所要ノ人員ハ之ヲ進級セシムルコ

トヲ得 但シ之ニ伴フ金錢給與ノ整理ハ之ヲ行ハサルモノトス

進級ノ範圍ハ従前ノ規定ニ拘ラス停年ヲ基準トシテ實施シ左ニ據ルモノトス

但シ特ニ勤務不良ナルカ若クハ特別ノ事由アルモノハコノ限リニアラス

入營後概ネ六月以上ノ者 一等兵

〃 一年 〃 上等兵

〃 二年 〃 兵長

〃 三年 〃 伍長

伍長任官後一年以上經過セル者 軍曹

〃 三年 〃 曹長

〃 六年 〃 准尉

第十九條全文ヲ左ノ如ク改ム

0624

第十九條 各部隊長ハ事務適任證明書、陸軍善行證書、陸軍自動者操縦術技術證明書、蹄鐵術卒業證明書、表彰狀其ノ他各種適任證書等ヲ下附スヘキ者アルトキハ夫々該當者ニ交付スルモノトス。

第二十一條第一號ヲ左ノ如ク改ム

一、現役將校 現役ニ編入セラレタル特別志願將校ヲ含ミ中佐以下ハ上陸地ヲ管轄スル軍管區司令官ノ定ムル部隊ニ轉屬ス

第二十二條第三項中「軍事保護院療養所ニ交付スル患者ハ上陸ノ時ヲ以テ」ヲ「軍事保護院ノ療養所等ニ交付スル患者ハ當該療養所等ニ收容ノ時ヲ以テ」ニ改メ

第四項中「處理シタル後」ノ次ニ「一部ヲ内地陸軍病院ニ」ヲ加フ

第二十六條末項ニ

「20、11、5 何病ニ依リ第〇〇兵站病院ニ入院」

ヲ加フ

第二十七條第三號中「昭和二十年九月以降」ノ次ニ「兵ニ對シテ同年十一月以降」ヲ加ヘ

同 條第三號中第3號ヲ削リ第4號ヲ第3號ニ繰上ケ

同 條第四號第一項中「請求受領代人タル主計將校」ノ次ニ

「(主計將校ナキ部隊ハ其ノ他ノ將校トス本條中以下同シ)」

0625

ヲ加へ

同 條第七號中「(復)ト朱書セル公務運賃割引證又ハ下士官 兵旅客運賃割引證ヲ云フ」ヲ削  
ル

第三十二條第一號ヲ左ノ通改ム

一、各部隊ハ乗船地ニ成ルヘク多量ノ糧食ヲ携行スルモノトシ乗船地上級先任ノ指揮官ハ各部隊乗船

時左ノ糧食ヲ携行セシムル如ク剩餘分ハ返納セシメ不足分ハ交付スルモノトス

イ、船内及船内豫備糧食

品種、定量及數量ハ附表第十六ノ如シ

ロ、上陸後ノ携帶用糧食及上陸地滞留間用豫備糧食

品種、定量及數量ハ附表第十七ノ如シ

0626



第八章雜則ニ左ノ二號ヲ加フ

三、除隊、召集解除、豫備役編入等セル者ニシテ歸郷後就職斡旋ヲ必要トスルモノニ付テハ左記事  
項ヲ本人現住所所管聯隊區毎ニ調査シ復員完結後速カニ三部ヲ復員本部ニ提出スルモノトス  
記

1、本籍、現住所（又ハ連絡所）、官等級、氏名、生年月日

2、履歷

3、家族ノ氏名、續柄、年齢

4、希望職業（第三希望迄）及希望就職地

5、其ノ他必要ナル事項

四、歸還ニ伴ヒ恩給請求ニ要スル證據書類ハ後日當該請求ニ支障ヲ來ササル如ク整備スルモノトス

附表中第八ノ次ニ附表第八ノ二（別紙）ヲ加ヘ附表第四、第五、第八、第十一ヲ別紙ノ通改ム

0627

〇〇聯隊區ノ分  
除隊、召集解除者連名簿  
部所 隊管 名名 (固有名)  
名名 (固有名)

除隊、召集解除者	職役	官等	兵種	種別	本籍	日時場所	20.11.2	20.12.5
							(天奉)	門司
							町〇〇番地	〇〇番地
							〇〇郡	〇〇市
							〇〇番地	〇〇市
							〇〇郡	〇〇町
							現	補
							歩	歩
							上	伍
							〇〇番地	村〇〇番地
							〇〇市	〇〇縣
							〇〇町	〇〇郡
							母	父
							何	何
							某	某
							何	何
							某	某
							氏	氏
							名	名

調製上ノ注意  
 一、各部隊毎ニ調製シ本籍地聯隊區毎ニ別葉トス  
 二、現地除隊(召集解除)者ニ在リテハ除隊場所名ニ( )ヲ附スルモノトス  
 三、徴収(任官)年欄ニ、准士官、下士官ニ在リテハ徴収年(任官年)ヲ附シテ併記スルモノトス

〇〇聯隊區ノ分  
死亡者連名簿  
部所 隊管 名名 (固有有名)

調製上ノ注意	所屬隊		役種官級		氏名		本籍地		留守擔當者		死亡年月日		死亡通報		死亡場所		遺骨ノ状況		
	本部	現	少佐	現	何某	何某	〇〇市	〇〇番地	〇縣	〇郡	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
一、名簿ハ各部隊毎ニ調製スルモノトシ本籍地聯隊區毎ニ別葉トス 二、役種官等令セラレテ後進級セルモノハ摘要欄ニ其ノ旨ヲ記スルモノトス 三、本名簿ハ支那事變發生時ヨリノ死亡者全員ニ付調製スルモノトシ功績ノ既ニ發令セラレタル者ニ就テハ1941.10.10功績發令「生者不明者ノ死亡認定セルモノニ在リテハ」死亡認定「ト摘要欄ニ記載スルモノトス	中	(尉大)現	何某	町〇番地	〇〇郡	同	上	母	何某	20.6.10	(濟未)	死	戰	〇北支	〇〇省	〇〇縣	管保(無)		
	本部	現	少佐	何某	町〇番地	〇〇市	町〇番地	〇縣	〇郡	〇	父	何某	19.3.4	19.3.20	死病戰	〇中支	〇野戰病院	19.5.1	送還地内

所 役 種		氏 名	本 籍	住 所	留 守 擔 當 者	氏 名	生 年 月 日	死 年 月 日	生 死 通 報	場 所	狀 況 ノ 概 要
隊 屬	官 等 級										
一 大 現	二 中 軍 曹	何 某	〇 市 〇 區 〇 〇 町 〇 番 地	〇 縣 〇 郡 〇 〇 町 〇 番 地	妻	何 某	20.4.5		明	中 支 〇 〇 省	大 隊 本 部 へ ノ 連 絡 途 中 行 方 不 明 ト ナ ル
二 大 一 補	五 中 上	何 某	〇 〇 郡 〇 〇 町 〇 〇 番 地	同 上	父	何 某	20.7.10	未 済	明	北 支 〇 〇 省 〇 〇 縣 〇 〇	立 哨 中 拉 致 セ ラ ル

調製上ノ注意  
 一、名簿ハ各部隊毎ニ調製スルモノトシ本籍地聯隊區毎ニ別葉トス  
 二、本名簿ハ支那事變發生時ヨリノ生死不明者全員ニ付調製スルモノトス

附表第八ノ二

昭和 年 月 日 調製

處刑者連名簿	所屬隊		種官等		役名		留守擔當者	部所		管隊名	名名	(固有有名)	
	氏名	生年月日	本籍地	居住地	柄續	氏名		刑名	刑處				罪名
			一 曹 現	何 何 何 何 何 何 某 何年何月何日生	何 何 何 何 何 何 某 何年何月何日生	〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 町 縣 番 地	〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 町 縣 番 地	母	何 某	三 懲 役	19.10.1	同 右	
			中 現	何 何 何 何 何 何 某 何年何月何日生	何 何 何 何 何 何 某 何年何月何日生	〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 町 縣 番 地	〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 町 縣 番 地	父	何 某	死 刑	20.5.4	上 黨 官 暴 行	
				何 何 何 何 何 何 某 何年何月何日生	何 何 何 何 何 何 某 何年何月何日生	〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 町 縣 番 地	〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 町 縣 番 地	同					

調製上ノ注意

一、各部隊毎ニ調製スルモノトス

二、摘要欄ニハ假出獄其ノ他刑ノ執行上ニ關係アル事項ヲ記載スルモノトス

0631

○聯隊區ノ分  
還送患者連名簿  
部所  
隊管  
名名  
(固有有名)  
(固有名)

所屬	隊級	氏名	本籍地	留守擔當者		病名	送還年月日	第一收容院名	收容年月日	摘要
				住所	柄續氏名					
一中	現伍長	何某	○○郡○○村	同上	同上	肺結核(壹)	20.10.17			輸送ノ途 中死亡
二中	軍曹	何某	○○市○○區	同上	母	マラリア(三日熱)(壹)	20.10.1	陸廣病島	20.10.3	
五中	上豫	何某	○○郡○○村	○○市○○番地	兄	左大腿骨折貫通(壹)	20.11.15	陸小病倉	20.11.18	

20  
10  
19  
一六三〇

調製上ノ注意

- 一、本名簿ハ各部隊及終戦後支那最後ノ發送病院ニ於テ調製スルモノトシ部隊ニ在リテハ各部隊毎ニ本籍地聯隊區毎ノ別葉トシ各三部ヲ調製シ二部ヲ復員本部ニ提出スルモノトス
- 二、還送患者發送病院ヨリ内地第一收容病院迄ニ於ケル調製處理ハ左ノ要領エヨル
  1. 發送病院ニ於テ調製スルモノニ在リテハ本籍地聯隊區毎ニ別葉トシ患者ノ所屬隊欄ニハ「歩八」「獨重砲十聯」等ト記入スルモノトス
  2. 發送病院ニ於テハ四部調製シ一部ヲ當該病院ノ控トシ他ノ三部ヲ還送患者護送上級先任軍醫將校ニ交付スルモノトス
  3. 發送病院ハ本名簿ノ患者ニ係ル現認(事實)證明書添附ノ有無ヲ各病床日誌ニ就キ點檢シ添附無キ者ニ對シテハ本名簿下欄外ニ〇印ヲ附シ置クト共ニ病院長ノ調製スヘキ決定證明書ヲ整備(病院長ノ更迭、或ハ現收容病院轉入前ノ事實ニ在リテモ現收容病院長之ヲ整備ス)シ置クモノトス
  4. 還送患者護送ノ上級先任軍醫將校ハ第一收容病院名收容年月日並輸送途中死亡セル患者アラハ本名簿上欄外ニ(死)ト朱書シ下欄外ニ死亡年月日時間ヲ記入シ置クモノトス
  5. 内地港灣ニ到着セハ本名簿ニ左ノ患者授受證書ヲ添へ内地收容病院ニ一部ヲ交付シ患者ノ授受ヲ確實ニスルト共ニ殘餘ノ二部ヲ復員本部ニ提出スルモノトス

患者授受證書

- 一、發送病院名 第○○○兵站病院
- 二、船名 ○○○○丸
- 三、患者總數 四二〇〇名

内譯

- 一、救護區分 擔送 八〇、護送一二〇、獨歩四〇〇〇
- 二、人員區分 將校二〇〇、准士官以下三八九五、軍屬一〇〇、其ノ他五
- 三、輸送途中死亡 五(將校一、准士官以下二、軍屬一、其ノ他一)

右送付ス

昭和 年 月 日 ○○丸護送先任軍醫將校

第○○○兵站病院附  
陸軍軍醫○尉 何

某 ㊦

右受領ス

昭和 年 月 日 ○○陸軍病院附

陸軍軍醫○佐 何

某 ㊦